



株式会社竹内製作所

第64期 中間報告書

2025年3月1日-2025年8月31日

次回株主総会(64期)の資料は、電子提供制度の趣旨や、環境面への配慮等を踏まえ、法令上送付が必要な情報に加え、議案の内容等を添付した「サマリー版招集通知」をお送りさせていただきます。



証券コード 6432

世界初から世界のTAKEUCHIへ。

私たちは、世界の工事現場で活躍する
小型建設機械を開発・製造・販売しています

欧州での主力商品

小回りが利くので、
狭い道が多い欧州の都市で活躍。



ミニショベル

北米での主力商品

雨でぬかるんだ場所での作業安定性が高く、
粘土質の土地が多い北米で人気を獲得。



クローラーローダー



■ 北米 ■ 欧州 ■ 日本 ■ アジア・オセアニア ■ その他

2026年2月期 上期実績

欧州シェア2位

売上468億円

北米シェア5位

売上633億円

※自社調べ

こんな現場で活躍



住宅建設



インフラ整備



除雪作業



災害復旧（能登半島地震災害復興支援
ボランティアでも活躍）

特長1 あらゆる現場に対応できる **Takeuchi** 品質でファンを獲得

パワフル



都市型工事に対応できる
十分なパワー、掘削量

耐久性



厳しい環境・条件で
長時間作業しても
壊れにくい

操作性



オペレーターを問わず
意のままに
コントロール可能

快適性



広い居住空間・
快適なシートなど
疲れにくい運転環境を整備

メンテナンス性



簡単に修理できるので
長く使える

特長2 世界各地のニーズに対応する 開発・生産・販売体制

ディーラー・エンドユーザー

日本の工場



開発・生産

世界各地の販売子会社
とディストリビューター



販売

連携

特長3 世界中に広がる販売チャネル

● ディストリビューター等
● Takeuchi グループ



全世界の人々の幸福で豊かな暮らしに貢献

代表取締役社長
竹内 敏也

◀ 当上期の事業環境について お聞かせください

当社グループは、2026年2月期から2028年2月期を対象とする「第四次中期経営計画」において、「Building Excellence ハイクオリティ、ハイパフォーマンス、ハイエンゲージメントで連結売上高3,000億円にチャレンジする。」をスローガンに掲げ、以下の5つの重点施策に注力しています。

1. 販売網の拡充とアフターパーツの販売拡大
2. 生産機種の再編成とクローラーローダー新工場の建設
3. 電池式ミニショベルのラインナップ拡充
4. 人的資本への投資
5. サステナビリティ経営の推進

当上期（2025年3月1日から2025年8月31日まで）の事業環境について、当社グループの主力市場の一つである北米では、米国政権の関税および通商政策に起因する先行きの不透明感、不確実性の高まりにより、第1四半期には製品購入時期を見合わせる動きが見られました。

欧州市場では、国によって差がありましたが、製品需要に底打ちの兆しがみられました。

◀ 当上期の業績については いかがでしたでしょうか

北米では、第1四半期に低調だった販売が、第2四半期にはレンタル会社向けの販売が増加した結果、販売台数は前年同期を上回りました。欧州では、製品需要に底打ちの兆しがみられ、ショベル、クローラーローダーの販売台数はともに前年同期を上回りました。新たに注力地域と位置付けているアジア・オセアニア地域では、主にオーストラリアの新規ディストリビューターにおける在庫補充があり、前年同期比で販売台数は増加しました。主力市場での販売台数が前年同期を上回ったことにより、売上高は1,141億3百万円（前年同期比4.1%増）となりましたが、利益面におきましては円高影響や値引きなどにより、営業利益は234億2百万円（同5.9%減）となりました。

◀ 2026年2月期の通期の 見通しについてお聞かせください

下期では、米国関税政策によるコスト増の一部を販売価格に転嫁しましたが、米国の建設市場は堅調であり、北米の販売台数は前期を上回る見込みです。また、欧州で

は、フランスでの販売状況は軟調ですが、その他の主要国では販売が上向いております。オーストラリアでは、販売も軌道に乗りつつあり、当社グループ全体としても、販売台数は前期を上回る見込みです。この状況を踏まえ、連結業績予想を見直した結果、売上高および利益面ともに前期を上回る見込みとなりました。この主な要因としては、関税コストとして約52億円の減益影響を見込みましたが、米国での値上げを織り込んだこと、および販売台数を上方修正したことなどです。なお、下期においては米国関税政策によるコスト増の影響を受けるため、各段階利益率が低下する見込みとなっています。

第四次中期経営計画がスタートしましたが、その進捗はいかがでしょう

第四次中期経営計画では、クローラーローダーの生産能力の拡大を重点施策に掲げています。クローラーロー

ダーは将来的な需要増、販売拡大を見据えると生産能力は不十分であり、既存の青木工場の隣接地に新工場を建設します。米国関税政策など、足元の経営環境は厳しい状況にありますが、中長期的な経営戦略に変更はなく、新工場の建設を計画どおりに推し進めています。

販売面では、米国での販売力強化に取り組んでおり、販売拠点は18拠点増加して298拠点となり、積極的な活動を展開中です。アフターパーツの販売につきましては、既存の本社パーツセンターの隣に新しく3階建ての建物を建設しており、2026年3月に完成する見込みです。これにより、迅速かつ効率的なアフターパーツの供給体制を構築し、売上拡大を目指します。

株主の皆様へメッセージをお願いいたします

私たちの存在意義は、住環境の維持・改善に必要不可欠な小型建設機械を全世界にお届けし、「人々の幸福で

豊かな暮らしに貢献すること」です。とくに、当社製品は「パワフル」かつ「耐久性」、「操作性」、「快適性」、「メンテナンス性」に優れており、その独自の付加価値で市場から高い評価を得ております。今後も、現状に満足することなく「世界最高品質」を徹底追求し、TAKEUCHIファンの創出に努めてまいります。

当社が成長し続けるためには、ステークホルダーの皆様との強い信頼関係が不可欠です。株主の皆様やお客様はもちろん、社員、調達先、そして各拠点の地域社会とともに歩み、成長と幸福を分かち合っていくこと、それが当社と社会の持続的な発展につながると私たちは信じています。

当社は、株主の皆様への利益配分を経営の重要課題の一つと位置付けており、今期の一株当たり配当予想を210円へ修正しました。

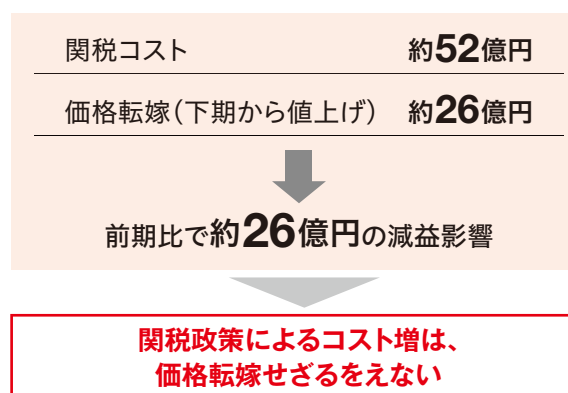
株主の皆様におかれましては、いっそうのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2026年2月期 連結業績予想

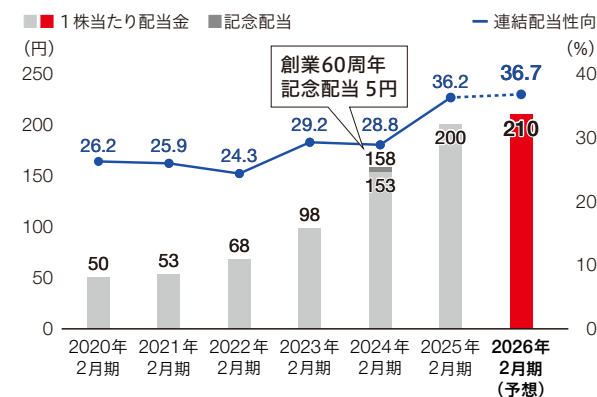
売上高	2,230億円 (前期比 4.6% ↑)
営業利益	380億円 (前期比 2.3% ↑)
経常利益	373億円 (前期比 4.8% ↑)
親会社株主に帰属する当期純利益	264億円 (前期比 1.1% ↑)

※下期想定レート：1米ドル=140.00円、1英ポンド=190.00円、1ユーロ=164.00円、1人民元=19.50円

2026年2月期の関税影響



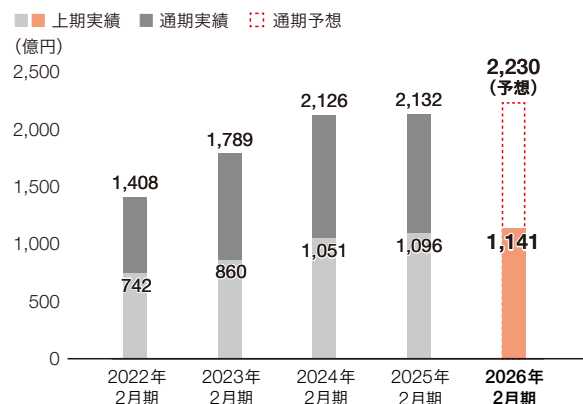
1株当たり配当金、連結配当性向の推移



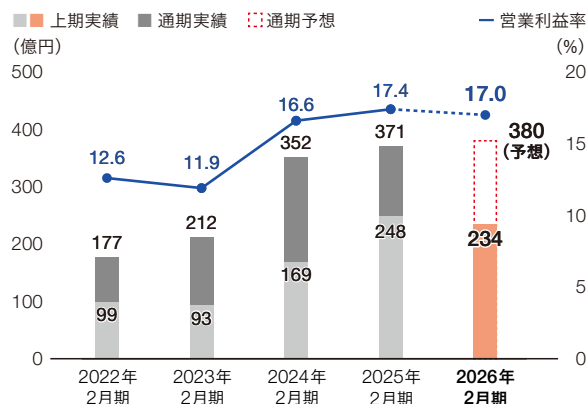
上期決算のポイント

- 1 北米では、米国政権の関税および通商政策に起因する先行きの不透明感、不確実性の高まりにより、第1四半期には製品購入時期を見合わせる動きが見られたが、第2四半期ではレンタル会社向けの販売が好調で、クローラーローダーが販売台数の増加に貢献
- 2 欧州では、前年より低調な経済環境が継続したが、製品需要に底打ちの兆しがみられ、ショベル、クローラーローダーの販売台数はともに前年同期を上回る
- 3 販売台数が前年同期を上回ったことで売上高は増加したが、円高影響や値引きなどにより、営業利益は前年同期比で減少

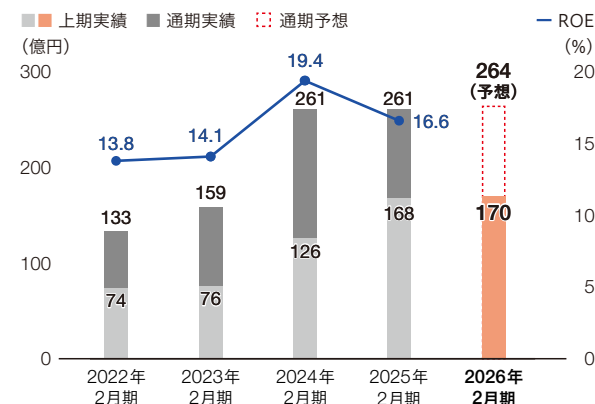
売上高



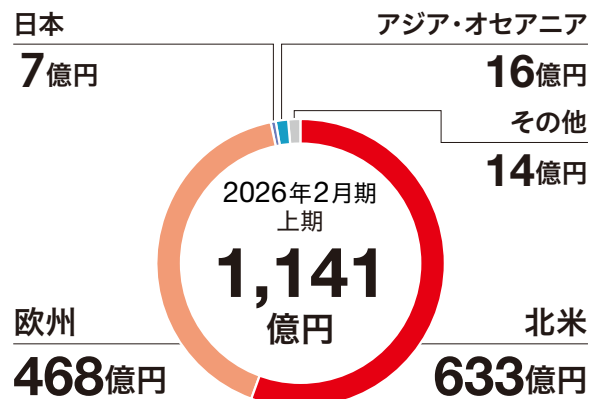
営業利益・営業利益率



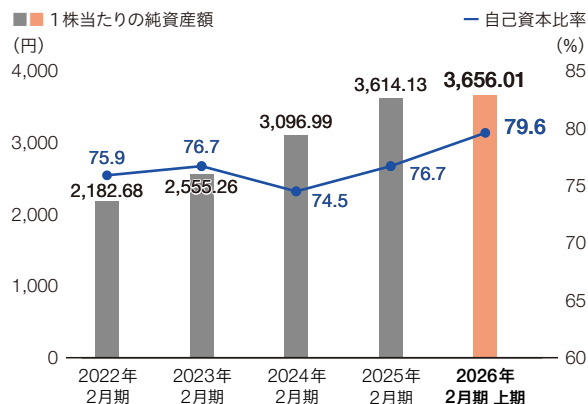
親会社株主に帰属する当期純利益・ROE



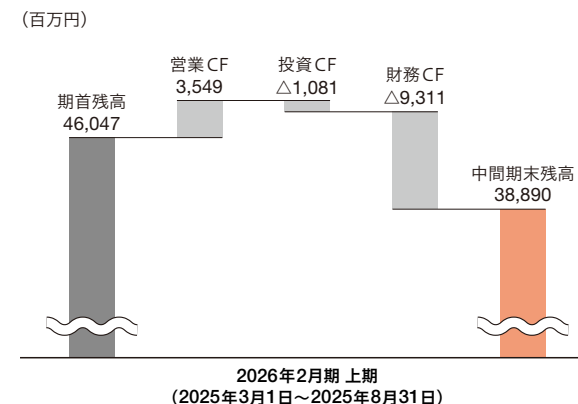
地域別売上高



1株当たりの純資産額・自己資本比率



キャッシュフロー



世界最大規模の建設機械展示会である、 “BAUMA”への出展

2025年4月7日から13日にかけてドイツ・ミュンヘンで建設機械展示会「BAUMA」が開催され、57カ国から3,601社が出展していた広大な展示場には、200を超える国と地域から約60万人が来場しました。

当社の展示ブースでは、リチウムイオン電池式ミニショベルの試作機「TB10e」「TB35e」、箱型の運転席を備えたキャビン仕様の「TB20e」などを展示しました。今回、電池式をはじめとしたさまざまな機械を、建物を囲むように配置して、来場者の皆様が気軽に触れられる構成にしました。そのうえ、遠くからでも一目で分かるTAKEUCHIロゴを大きくあしらった2階建ての展示ブースへは、多くのTAKEUCHIファンや関係者が足を運び大変盛況でした。

現地のディストリビューターからは、次のような声をいただきました。「TAKEUCHI製品の最大の魅力は、頑丈で壊れにくい信頼性であり、さまざまな機械を使ってきたエンドユーザーがTAKEUCHIを使い続けている。乗りやすさ、操作のしやすさについても好評で、まるでバターのよう滑らかな操作感だ。」

世界中からの多くの来場者との交流を通して、TAKEUCHIの魅力を最大限に伝えようと、ともに、再認識いただく絶好の機会となりました。



展示会の様子



TAKEUCHIのブース

クローラーキャリア「TCR50-3」の 販売開始

クローラーキャリアは、前方の運転席と後方の荷台で構成された運搬用の製品です。ミニショベルや油圧ショベルで掘削した土砂、建設資材などを運ぶために活用されます。タイヤではなくクローラーで駆動するため、傾斜地や雨でぬかるんだ軟弱な地面でも安定して走行できます。また、左右のクローラーを逆方向に同じ速度で回転させることで、その場で車体を中心に旋回でき、狭い場所でも小回りが利くのが特長です。

当社のクローラーキャリアは、優れた耐久性、なめらかで直感的な操作性、長時間でも疲れにくい快適性や居住性といった、当社製品が持つ強みをしっかりと受け継いでいます。



主な特長

1. 低燃費設計
2. マルチインフォメーションディスプレイ
5.7インチのカラーディスプレイは、機械情報だけでなく、カメラ画面に切替えて、後方確認も可能です。
3. 最大積載量 3,700kg、
180度回転のダンプ式荷台
4. TFM(Takeuchi Fleet Management) システムを標準装備
製品の稼働情報、位置情報、メンテナンス履歴などを遠隔監視し、故障はもちろん、万一の盗難時にも即応できます。



180度回転のダンプ式荷台



大きなディスプレイを備えた運転席

商号

株式会社竹内製作所

(英文社名)

TAKEUCHI MFG. CO., LTD.

本社

〒389-0605
長野県埴科郡坂城町上平205番地

設立年月日

1963年8月21日

資本金

3,632百万円

事業内容

建設機械の開発、製造及び販売

従業員数

1,358名(連結)

役員の状況

代表取締役会長

竹内 明雄

代表取締役社長

竹内 敏也

取締役

渡辺 孝彦

取締役

Clay Eubanks

取締役

小林 修

取締役

横山 浩

取締役(常勤監査等委員)

草間 稔

社外取締役(監査等委員)

岩渕 道男

社外取締役(監査等委員)

宮田 裕子

社外取締役(監査等委員)

織 英子

社外取締役(監査等委員)

安藤 国威

拠点情報

国内

本社工場

長野県埴科郡坂城町

青木工場

長野県小県郡青木村

戸倉工場

長野県千曲市

東京営業所・東京オフィス

東京都港区

海外

米国

TAKEUCHI MFG.(U.S.), LTD.

英国

TAKEUCHI MFG.(U.K.)LTD.

フランス

TAKEUCHI FRANCE S.A.S.

中国

竹内工程機械(青島)有限公司

ドイツ

欧州駐在員事務所

オランダ

欧州パーツセンター

発行可能株式総数

138,000,000株

発行済株式の総数

48,999,000株

単元株式数

100株

株主数

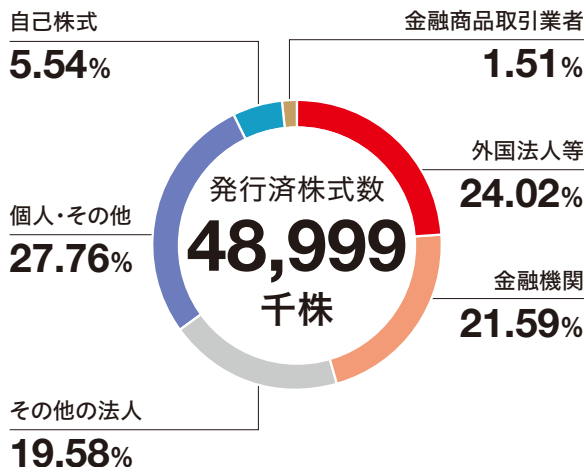
43,763名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社テイク	5,159	11.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	4,946	10.68
竹内敏也	2,656	5.73
株式会社日本カストディ銀行	1,990	4.30
東京中小企業投資育成株式会社	1,803	3.89
公益財団法人TAKEUCHI育英奨学会	1,503	3.24
竹内好敏	1,500	3.24
株式会社八十二銀行 常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,440	3.11
野村信託銀行株式会社	954	2.06
岩崎泰次	699	1.51

※持株比率は、自己株式(2,713,924株)を控除して計算しております。

株式分布状況(所有者別)



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
基準日	毎年2月末日 その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	毎年2月末日 (中間配当を実施するときは8月31日)
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。 https://www.takeuchi-mfg.co.jp/ ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
(同連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料)
(同郵送先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

WEBサイトのご紹介

当社WEBサイト
<https://www.takeuchi-mfg.co.jp/>
 竹内製作所の新着情報や、企業情報・IR情報などを掲載しています。
 分かりやすく、当事業を紹介しているページ(TAKEUCHIってどんな会社?)や、会社紹介ビデオもありますので、ぜひご覧ください。

